はじめに

猛暑だ、酷暑だと言われている今年の夏も、利賀村では朝夕のひんやりとした空気に、木陰に入れば涼やかな風が吹きぬけて過ごしやすい日が続いています。・・・・・・と書きたいところですが、やはり日中は暑いですね。夜になって舞う蛍が、なんとか１日の火照りを冷ましてくれている毎日です。

子どもたちも今学期最後のホームステイを終え、センターの大掃除をしたり、１学期中に誕生日を迎えた子の誕生会を開いたりと、夏休み前の日々を慌ただしく過ごしてきました。つい先日に行われた武蔵野市からの訪問団を迎える歓迎式では、１学期の間に覚えた「初午」や「たろじ」を地元の子と一緒に上手に披露し、利賀村の紹介もしっかりと行っていました。

４月から始まった山村留学生活を見返す一つの区切りとなるこの時期。苗から育てた夏野菜たちのようにしっかりと実りをつけはじめたこともあれば、まだまだまだまだ、改善しないといけないこともたくさん。それでも、利賀という環境に飛び込んで頑張ったこと、発見したこと、手に入れたことを夏休み中にゆっくりと振り返って、忙しい２学期に向けてまたエナジーチャージをして帰ってきてくれたらと思います。

須河紗也子

【活動日程】

6／22 週末コース①(～23日)
6／27 センター活動開始
6／29 竜口谷キャンプ(～30日)
7／5 ホームステイ開始
7／12 センター活動開始
7／13 クリーン作戦参加(百瀬)
沢登り
7／14 田畑の作業
7／15 畑の作業
7／16 大掃除･誕生日会
7／20 クリーン作戦参加
(上利賀･中央)
川遊び
7／25 帰省

川の活動
はじまりました！

夏野菜が
採れています♪

〒939-2516 富山県南砺市利賀村坂上 18 南砺利賀みらい留学センター
TEL：0763-77-4103 ／ FAX ： 0763-77-4037
MAIL：nanto-toga-mirai@p1.tst.ne.jp ／ WEB：http://www.nanto-toga.com/

6／29～30　竜口谷キャンプ

今年度３回目のキャンプを、百瀬川の支流の一つ、竜口谷で行いました。不便な場所ですが、ソロキャンプに挑戦する留学生も多く、以前よりレベルアップしたキャンプ活動となります。ソロキャン勢は一人でテント設営、薪集め、火おこし、調理を行い、自分だけで作り上げたキャンプの夜を満喫していました。複数人チームも、人手が多いことを活かした作戦で完成した料理を美味しく頬張りました。今回は翌日の朝ごはんも調理しなければなりませんでしたが、昨晩の雨により薪が濡れてしまい、火おこしに苦戦する様子も…。

次のキャンプは過酷な雪中キャンプです。次回こそは火をつけてやろうと、今から練習する姿が見られます。

雨の強さでまきとか湿ったりして、なかなか火がつかなかったから、自然とたたかうということを知りました。でもおいしいご飯が作れてよかったです。（しゅんや）

7／13　沢登り

今年初めての川の活動として、百瀬川の源流の一つである日尾谷にて沢登りを行いました。沢の流れに逆らって歩いて、谷の上流の方を目指します。流れの速い場所や自分たちの背よりも高い滝が行く手を塞いだ時は、水の中を全身濡れながら突破したり、歩きやすい斜面を見つけたりして先に進んでいきました。途中で、何か語り掛けてきそうな佇まいのカモシカに遭遇。「アニメみたいだ」と非日常的な源流部の自然を満喫します。最後は飛び込み大会！みんな、個性はじけたポーズで水中に飛び込み、夏の涼しさを楽しんでいました。

週末コース①　キャンプ・よもぎ餅つき

主に南砺市の小・中学生を対象として、土日を使った１泊２日の体験活動を、今年度も４回計画しています。今年度の １ 回目は、テント泊のキャンプと、釣り・お土産作り・山菜料理の選択活動、そして餅つきを行いました。今回は抽選で 19 名の小中学生が利賀にやってきました。

１日目のキャンプはロンレー子ども村へ。班ごとに火をおこし、カレーライスをつくって食べました。どの班もおいしく完成し山もりのカレーをほおばって、「おなかいっぱい！」と満足そうでした。悪天候が予想されたのでテント泊はセンターの脇で行いました。夜に大雨が降り、いくつかのテントは体育館に移動しましたが、雨の下、テントでぐっすり眠り続けている強者たちもいました。

２日目は選択活動とよもぎの餅つき。よもぎ餅もお腹いっぱい食べて、利賀の初夏を味わう活動になりました。

7／16　大掃除

１学期を過ごしたセンターの大掃除。今回は、１階と２階の廊下、食堂、交流室の４か所を分担して清掃しました。各場所、まずは窓の桟を重点的に。結果、ゴミが詰まっていた窓がスムーズに開くようになりました。その後は、床や水道の掃除。続く作業の合間、わずかな休憩時間に熟睡している姿も。今回は時間がかなりかかってしまい、終了後に反省会をしました。２学期はさらに迅速で丁寧な大掃除を目指します！

7／16　誕生日会

大掃除の後、１学期に誕生日を迎えた人たちを祝う誕生日会を開催しました！誕生日会では、留学生自らが夕食のメニューを考案、調理し、レクリエーションの企画も行います。

今回のメニューはちらし寿司、鮭グラタン、ワンタンスープ、ポテトサラダ、フルーツポンチ、柘榴＆巨峰ジュースでした。全員で協力して作り上げた料理は彩り豊かで、「写真撮りたい！」と皆で大絶賛。優しい味付けに舌鼓をうち、ハッピーバースデーを歌って、お腹いっぱい食べました。食事後はセンター内でかくれんぼ大会！指導員も含めた本気のかくれんぼは、ハラハラドキドキした楽しい時間となりました。

私が誕生日会で一番楽しかったのは、かくれんぼです。指導員が体育館の上から下りられなくなってて面白かったです。（あやね）

7／20　川遊び

朝まで降り注いだ雨の影響で、センター横の利賀川は濁流に。代わりに比較的水量の少ない百瀬川で川遊びを行いました。ちょうどよい流れの場所を探し、川に入ります。それぞれ持ってきた浮き輪に乗り、川の流れを下っていくのを楽しみます。流れに乗りながら水鉄砲を撃ったり、みんなで手を繋いで浮かんだり、浮き輪を持たずにライフジャケットのみで流されてみたりと、楽しみ方を変えながら、川の自然を満喫しました。

百瀬川で川遊びをしました。ついたら車からおり、うきわをかりて出発しました。一つ目の川を見に行ったとき流れが速いらしく無理でした。二つ目の川は少しぼくからしたら流れが強かったけど、うきわで流されて遊んでいました。そして、頭に岩がぶつかりましたが大丈夫でした。ヘルメットをつけていなかったらあぶなかったです。（おうき）

みらい留学農事歴

7/14 田:草取り
　　畑：収穫
7/15 畑:草取り・土寄せ

【畑】いよいよ収穫がはじまりました。ナス、ピーマン、きゅうり、いんげんなどの野菜をたくさん収穫し、さっそく「料理したい！」と留学生。丸かじりはもちろん、味噌炒めや浅漬けなど様々に調理していただいています。月末にはミニトマトやトウモロコシも。草取りなどの作業もまだまだ続きますが、待ちかねた収穫の夏です！

【田んぼ】７月になり、雑草の種類がヒエからオモダカに変わりました。今年度はなんとか雑草に負けずに育ってくれた稲ですが、オモダカも一緒にグングンと成長していたので、７月 14 日に皆で雑草取りを行いました。今回は草かきを使わず、手で自分の担当範囲内の草を根こそぎ抜いていくという方法で作業を進めていきました。雨が降りしきる中での作業でしたが、全員が集中して作業をこなし、１時間程度で全面の草取りを終えることが出来ました。

保護者だより

お世話になっております。小学３年生、一之瀬芽生の父です。目を閉じるとスターフォレスト横の川の流れる音、雄大にそびえ立つ山々の景色、５月に参加した田植えで素足に感じた美しい泥のぬめり、それらの感覚は今、東京にいても鮮明に思い起こすことができます。そんな美しい利賀村へ娘を送り出して早３カ月。葉書のやりとりをしたり、ブログを通して子どもたちの様子を見るのが、日常の楽しみになりました。利賀村の自然の風景に子どもたちが馴染んでいる、そんな一体感を感じ、「もう慣れたかな？」という心配は子どもたちの笑顔で吹き飛ばされる勢いです。

芽生は最年少だし、遠いし、本人の気持ちとは別に、父親の私は行く前は心配ばかりでした。初めてひとりで送り出すという体験のため、父として不安な思いをどのように扱ってよいか分からぬまま４月の入所式を迎え、娘と２人で参加しました。私自身初の利賀村でした。

子どもたちが学んで暮らす風景は、とても穏やかで美しい村でした。入所式で歓迎のお言葉をいただき、不安な思いが少ししずつ期待に変わっていきました。そして私自身いちばん驚いたことは、「ここで生活をする娘が羨ましくてしょうがない」という感情が芽生えたことでした。利賀村の方々と共に、感謝の気持ちを忘れずに、悔いのないよう、娘に元気いっぱい思いっきり楽しんでほしい。本気でとことん応援しています。

子どもたちが安全に留学生活を送れるように支えてくださっているセンターの方々、そしてホームステイ先のご家族をはじめ利賀学舎や利賀村の地域のみなさま、温かく見守ってくださり本当にありがとうございます。娘にとって利賀村での暮らしは大人になっても決して色褪せない、瑞々しい生きる根っこになると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

Supporters' Voice

南田　哲幸さん（利賀学舎育成会 会長）

※留学生を見守り、支えてくださっている地域の方から、メッセージをいただきます♪

７年生学年行事で金沢にて。
左下が南田哲幸さんです。

数年前から平地域のスキー大会にぜひ利賀の子どもたちにも参加してほしいと声をかけていただき、参加を呼びかけました。留学センターも冬の活動にスキーを取り入れており、その成果を披露する場としてスキー大会に参加してくれることとなりました。初年度、本当に滑ってくることができるのか私も含め、大会関係者も相当不安でありましたが、全員がフィニッシュ。平地域の皆さんも山村生に対してのイメージが変わりました。これからもぜひ参加してほしいです。

私の住む地区では、４期目で初めて山村生が獅子舞に参加（１期生はコロナで獅子舞が中止）してくれました。練習を重ねるうちにほぼすべての演目をこなすことができ、また地域の皆さんとの交流も生まれ、素晴らしい春季祭礼になったと思います。

ある機関誌に、都会からやってきて１年ほどでまた戻っていくことに疑問を呈する記事がありました。多額の税金が投入されており、市民のなかにはこの制度に否定的な方たちがいることも念頭に留学センターは運営にあたってほしいと思います。しかし、山村留学は単年度で考えればそうかもしれませんが、１０年先ここを巣立った子どもたちがきっと利賀村と何かしらの関わりをもってくれ、この地域に大きな活力をもたらしてくれると信じています。

みらい留学 定地定点

※留学生は利賀の四季を体感する定「地」定点観測のため、毎朝外に出て「朝のつどい」を行っています。朝のつどいでは、自然にまつわる声かけを指導員からひとつ。記録の一部を紹介します。

７／１４（日）　雨　気温：２２℃　【ホタル】

- ７月初め頃から、百瀬川の周辺では見ることができた。
- 例年センターのある坂上は７月下旬頃が見頃だが、今年は早い…？この辺の主流はゲンジボタル。